

【国語】

■児童の状況	〔知識及び技能〕 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ・学習した漢字を文や文章の中で使うことが苦手だったり、書こうとしなかったりする児童が多い。 ・語彙が乏しく、自分の考えや思いを明確に伝えることが苦手な児童が多い。 (2)情報の扱い方に関する事項 ・漢字辞典や国語辞典などの使い方は知っているが、活用できている児童はあまり多くない。 (3)我が国の言語文化に関する事項 ・読書量が減っている。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと ・自分が伝えたいことや考えたことを話そうとする意欲のある児童は多いが、順序立てて相手に伝わりやすいように話すことができる児童は少ない。 B 書くこと ・経験したことや調べたこと、感じたことなど、事実に基づき文章を書くことができる児童もいるが、自分の意見を書く力が十分でない児童が多い。 C 読むこと ・音読や一人読み、全体読みなどで上手に読めるようになってきているが、物語の全体像を具体的に想像したり、登場人物の気持ちを想像しながら読んだりすることが苦手な児童が多い。
■指導についての課題	〔知識及び技能〕 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ・文や文章の中で漢字を積極的に使わせたり、語彙を増やすための指導をしたりすることが課題である。 (2)情報の扱い方に関する事項 ・単元として辞典の使い方は指導するが、その後タブレットPCで調べる指導のみになっている。 (3)我が国の言語文化に関する事項 ・読書月間や朝読書などで読んでいる本や内容をあまり把握できていないことで、年齢に適した本を薦められていない。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと ・主語、述語を明確にした指導が必須である。 B 書くこと ・調べ学習や登場人物の行動などまとめる指導は十分だが、自分の考えや登場人物の気持ちなどは、それまでの授業の内容や発問に左右され足りていない部分がある。 C 読むこと ・物語文や説明文については、語句の意味を的確に捉え、内容を読み取る力を伸ばすことが課題である。
■授業改善に向けての具体的な方策	○年間を通して【読み解く力】の育成に向けた授業革新を行い、児童の読みの力を伸ばしていく。 ○授業中にInput・Think・Outputの活動を取り入れ、思考時間、対話の時間の確保と表現力の向上を図る。 〔知識及び技能〕 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 ・漢字練習、漢字テストによる定着を図るとともに、ノートに考えなどを書く際に既習漢字を正しく使えるように指導する。 (2)情報の扱い方に関する事項 ・語彙力を育てるため、辞書や辞典などを活用する機会をさらに増やし、言葉に関心をもたせる活動を行う。 (3)我が国の言語文化に関する事項 ・低学年は、MIMの教材を活用し、言語のつまづきを解消していく。 ・読書月間や朝読書などで学年に適した本を薦めたり、図書室で借りることのできる漫画も読書の時間は制限したりする。 〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと ・友達との意見交換をペアや小グループなどで行い、自分の考えと比較したり組み合わせたりして、よりよい考えを創り出す場面を設定する。 ・話し方・聞き方のポイントを例示し、課題に沿って取り組めるようにする。 ・思考する時間を確保し、一人ひとりが自分の考えをしっかりとめるようにする。 B 書くこと ・授業での学習に加え、お題に対して自分の考えを書く「書きブリ」を継続的に行うことで書く力の向上を図る。 C 読むこと ・文章中の言葉や表現に着目して読み取りをしたり、文章読解のプリントに取り組んだりすることで正しい読み取りが行えるように練習する。 ・読書指導を充実させ、本に親しむ場を多く設定する。 ・よみっこさんの読み聞かせを通して読書週間の定着を図る。